SONY

2-177-933-**03** (1)

ラジオカセットコーダー

取扱説明書
Operating Instructions (page 58)

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

WM-GX788

安全のために

⚠危険

- 充電スタンドにコイン、キー、ネックレスなどの金属類を置かないでください。充電スタンドの端子が金属とつながるとショートし、発熱することがあります。
- 付属の充電式電池を持ち運ぶときは、必ず付属の充電池ケースに入れてください。ケースに入れずにコイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管すると、電池の＋と－がショートし、発熱することがあります。
- 乾電池や乾電池ケースはコイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しないでください。乾電池の＋と－、または乾電池ケースの端子が金属でつながるとショートし、発熱することがあります。

ご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- ラジオカセットコーダーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

目次

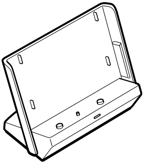
主な特長

- テープの再生スピードを約＋20%〜約－15%の範囲で速めたり遅めたりできる、**再生スピード調整機能**（スピードコントロール）。（23ページ）
- テープ速度を半分にしてテープを2倍の時間使える、**録音／再生時間2×（2倍）モード**。おけいこや、語学学習にたいへん便利です。（9ページ）
- 聞きたいところをすぐに見つけられる、**キュー&レビュー**。
- 付属のステレオマイクまたはラジオからの、**オートリバース録音機能**。（8ページ）
- 全国14地域とJR新幹線の主な放送局があらかじめプリセット（記憶）された、**スーパーエリアコール機能**。（16ページ）
- テープに合わせて選べる3種類の音質、REVIVE（リバイブ）、MEGA BASS（メガベース）、GROOVE（グルーブ）。（40ページ）
- 16倍速の高速サーチで、前後9曲の頭出しをするAMS。（21ページ）
- 充電式電池と乾電池の併用で、約70時間の長時間再生ができる、**スタミナタイプ**。（44ページ）
- 使いやすい、**バックライト付き液晶リモコン**。
- 語学学習に威力を発揮する、A-B **区間リピート機能**。（24ページ）
- テープカウンター表示。（26ページ）

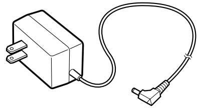
本機の2倍モード（2.4cm/s）で録音したテープは、2倍モードのないカセットプレーヤー/テープレコーダーでは正しく再生できません。

付属品を確かめる

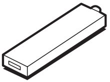
●充電スタンド



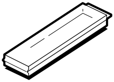
●ACパワーアダプター
(充電スタンド用)



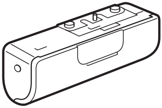
●充電式ニッケル
水素電池
NH-14WM (A)



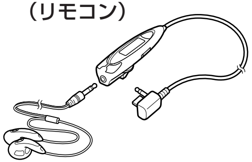
●充電池ケース



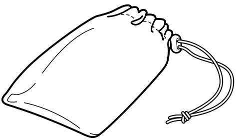
●乾電池ケース



●リモコンつきヘッドホン
（リモコン）



●キャリングポーチ

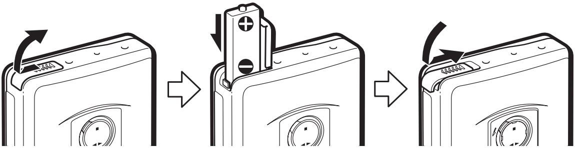


●ステレオマイク
●取扱説明書
●ソニーご相談窓口のご案内
●保証書

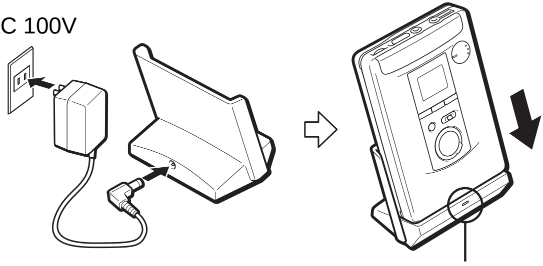
準備する

お買い上げ時には、充電式電池をまず充電してください。
コンセントでの使いかたは、「コンセントにつないで使う」（45ページ）をご覧ください。

1 充電式電池を本体に入れる



2 充電する



電池残量にかかわらず約6時間で充電が完了し、ランプが消えます。

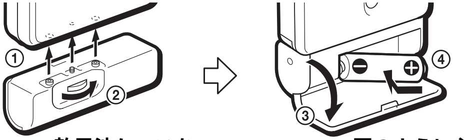
ご注意

- 本機の充電はタイマー方式です。充電中に本体を充電スタンドからはずすとタイマーがリセットされて、再びのせ直した時点から充電終了まで約6時間かかります。
- CHGランプが消える前でもお使いいただけます。ただし、充電量（充電時間）に応じて、持続時間が短くなります。
- 充電中は使用しないでください。ご使用になるときは充電スタンドからはずしてください。
  – 充電スタンドにのせたまま操作をすると充電式電池が充電されません。
  – 充電スタンドにのせたまま操作をすると正しく動作しない場合があります。
- 本体に充電式電池を入れずに充電スタンドにのせないでください。正しく動作しない場合があります。

乾電池で使うときは

別売りのソニーアルカリ乾電池（単3形）を1本入れます。

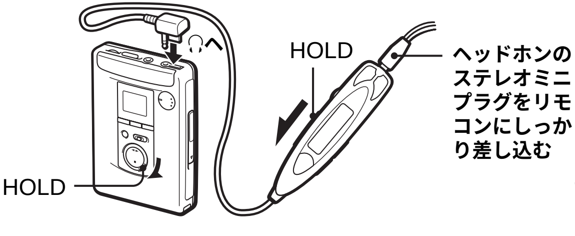
充電式電池と一緒に使うと長時間再生ができます。



乾電池ケースを本体に取り付ける

図のように必ず⊖側から入れてください

3 リモコンをつなぎ、ホールドを解除する



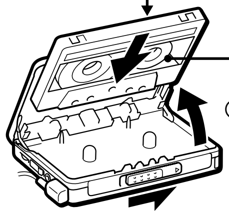
録音する

オートリバース録音ができます。
録音には、TYPE I（ノーマル）テープをお使いください。

ご注意

- ツメが折れている面には録音できません。(「大切な録音を守るには」(12ページ)参照)
- 録音するときは、なるべく新しい乾電池や充分に充電した充電式電池をお使いください。
- 本機の2倍モード(2.4 cm/s)で録音したテープは、2倍モードのないカセットプレーヤー/テープレコーダーでは正しく再生できません。

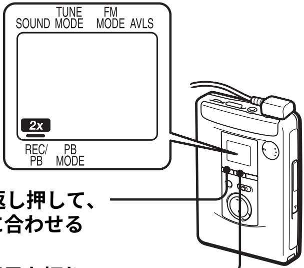
1 カセットを入れる



録音する面	カセットの入れかた	走行方向表示
両面を続けて録音するとき	録音を始めたい面がふた側になるようにカセットを入れる。	FWD
片面だけに録音したいとき	録音したい面が本体側になるようにカセットを入れる。	REV

カセットぶたを開けると、テープの走行方向は自動的にFWDに設定されます。片面だけに録音するときは、表示がFWDからREVになるまで■ボタンを押したままにします。

2 録音時間を選ぶ



①MENUボタンを繰り返し押して、カーソルをREC/PBに合わせる

②SETボタンを押して表示を切り換える

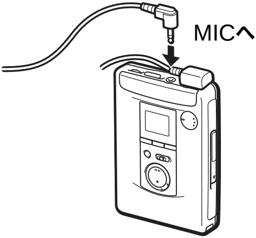
標準（表示なし）： （4.8cm/s）	通常の録音をするとき。 「2倍モード」のときより良い音で録音できます。
2x（2倍モード）： （2.4cm/s）	テープ速度を半分にして2倍の時間録音をするとき。 会議、口述、メモ録音などに適しています。 音楽の録音にはおすすめできません。 （60分テープを使うと、両面で120分間の録音ができます。）

（次ページへつづく）

3 音源を選ぶ

マイク録音の場合

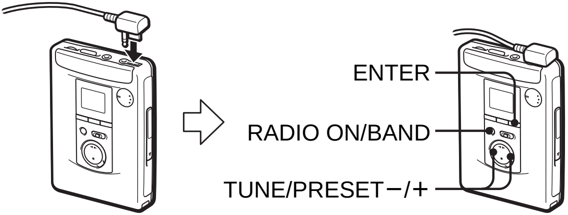
マイクをつなぐ



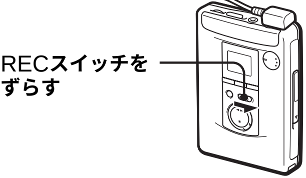
ラジオ録音の場合

①リモコンつきヘッドホンのコードがFMのアンテナになっています。

②受信する（「ラジオを聞く」（16ページ）参照）



4 録音を始める



表示窓に「REC」が表示されます。
（リモコンでは、ラジオ録音時は「REC」と周波数が交互に表示されます。）

録音を止めるには

■ボタンまたはリモコンの◀▶•■ボタンを押します。

AMを録音中に「ピー」という雑音が聞こえたら

本体側面のISSスイッチを、雑音が消える位置(1、2または3)に切り換えます。

テープが終わりまでくると

ふた側(FWD側)から録音を始めたときは、自動的に本体側(REV側)に切り換わり、REV側の面の終わりまで録音して自動的に止まります(両面録音)。また、REV側から録音を始めたときはその面の終わりで自動的に止まります(片面のみ録音)。

録音レベルについて

録音レベルは一定です。録音される音は、VOLつまみや音質(RV/MB/GRV)*、AVLS*の設定に影響されません。*「その他の機能を使う」(40ページ)参照。

録音中の音を聞くときは

- 録音中の音はヘッドホンで聞く(モニターする)ことができます。モニター音はVOLつまみで調節できます。
- 録音中の音を聞くときは、録音を始める前に音質の設定を通常の音質(表示なし)にしておくことをおすすめします。「RV」、「MB」または「GRV」になっているとモニター音に雑音が入ることがありますが、録音される音には影響ありません。

録音についてのご注意

- 停止状態またはラジオ受信状態でないと、録音は始まりません。
- 録音中は録音面を切り換えることはできません。
- RECスイッチは録音開始の2秒くらい前に操作してください。直前に操作すると最初の部分が録音されません。
- 電池が消耗すると、録音に雑音が入ったり、性能を充分に発揮できないことがあります。このような場合、なるべく早めに乾電池は新しいソニーアルカリ乾電池と交換し、充電式電池は充電して録音を開始してください。
- 録音するテープにはTYPE I(ノーマル)テープをお使いください。
ハイポジションテープやメタルテープを使うと、再生する音がひずんだり、前の録音が消えずに残ったりすることがあります。

(次ページへつづく)

録音する(つづき)

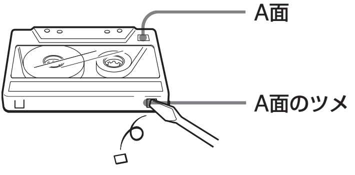
- ラジオから録音するときは、録音中にヘッドホンの抜き差しをしないでください。
- 両面録音時は、FWD側からREV側に切り換わる際の10秒程度は、録音がとぎれます。
- 録音中は、停止とカウンターリセット(26ページ)以外の操作はできません。

マイク録音について

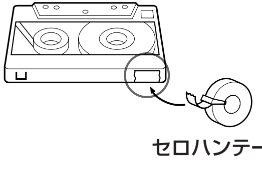
- ヘッドホンで録音モニター中に音量を上げると、その音をマイクが拾い、ピーッという音(ハウリング)が生じることがあります。この場合には、音量を下げてください。
- 付属のマイクは、本機につなぐと電源が本機から供給されるプラグインパワー方式です。
- 録音中、マイクを電灯線や蛍光灯に近づけすぎると、ノイズを拾うことがあります。
- マイクのプラグはときどき柔らかい布でからぶきし、清潔に保ってください。プラグが汚れていると雑音の原因になることがあります。

大切な録音を守るには

ツメを折って取り除きます。



再び録音するには、穴をふさぎます。



ツメを折った面には、録音することができません。

付属のマイクを使うには

クリップはマイクを付ける場所に合わせて方向が変えられます。

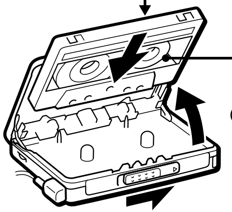
テープを聞く

TYPE I（ノーマル）、TYPE II（ハイポジション）、TYPE IV（メタル）のテープを自動的に判別し、再生します（**オートテープセレクター機能**）。

1 カセットを入れる

①OPENつまみを矢印の方向にずらす

②ふたが少し開いたら、手でふたを開ける



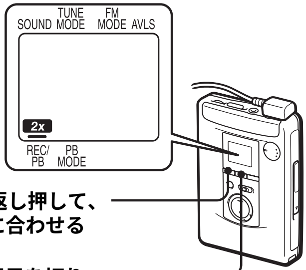
ふた側（FWD）

本体側（REV）

③テープのたるみを取ってからテープ側を奥にして奥まで確実に入れる

2 再生時間を選ぶ

REC/PB（録音/再生時間2×（2倍））表示を、録音した時と同じ位置に合わせます。市販の録音済みテープを再生するときは標準（表示なし）を選んでください。（「録音する」（9ページ）参照）

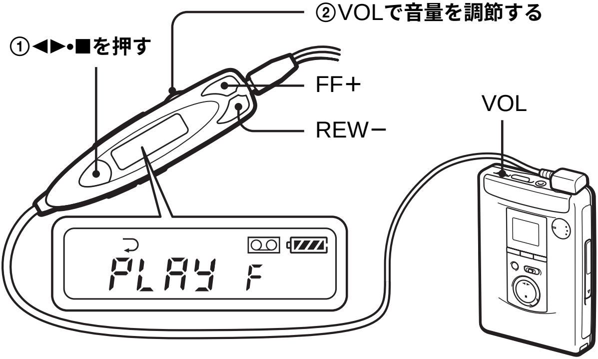


①MENUボタンを繰り返し押して、カーソルをREC/PBに合わせる

②SETボタンを押して表示を切り換える

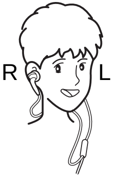
（次ページへつづく）

3 再生する(リモコンで操作する)



リモコンで音量調節するときは、本体のVOLつまみを6程度にします。
本体で音量調節するときは、リモコンのVOLつまみを最大にします。

ヘッドホンが耳にぴったり合わないときや、音のバランスが不自然なときは、おさまりのいい位置に調節してください。



「L」を左、
「R」を右の耳に

その他のテープ操作

操作	押すボタン	動作の確認音（リモコン表示）
再生面の切り換え	再生中に◀▶•■を2秒以上	FWD（ふた側）面スタート ピ REV（本体側）面スタート ピピ
停止	再生中に◀▶•■を1回	ピ
早送り/巻き戻し（停止中）*	停止中にFF+または REW–を1回	ピ（「FF」または「REW」が点灯）
音を聞きながら早送り/巻き戻し（キュー/レビュー）	再生中にFF+または REW–を押し続ける *押し続けている間だけ早送り／巻き戻しします。*	早送り時: ピ→ピ→ピ、…（「FF」が点滅） 巻き戻し時: ピ→ピピ→ピピ、…（「REW」が点滅）
早送りして反対面を再生（スキップリバース）	停止中にFF+を2秒以上	ピ→ピ→ピ、ピ、…（「FF」が点滅）
巻き戻して最初から再生（オートプレイ）	停止中にREW–を2秒以上	ピ→ピ→ピピ、ピピ、…（「REW」が点滅）

* 早送り、巻き戻し中に◀▶•■ボタンを押すと再生状態になります。

上記以外のテープ操作は、「テープを聞く－応用」（20ページ）をご覧ください。

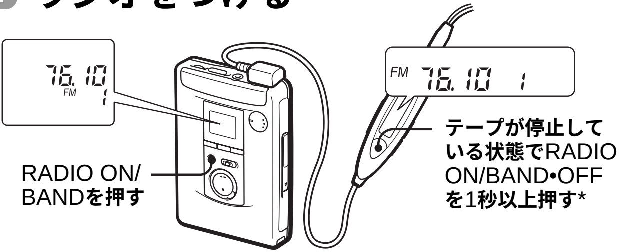
ご注意

カセットぶたを開けるときは、テープが停止していることを確認してください。動作中にカセットぶたを開けるとテープがたるみ、テープを傷めるおそれがあります。

ラジオを聞く

本機には全国14地域と新幹線の主な放送局がエリア番号に記憶されているので、エリア番号を選べば、すぐに受信できます（**スーパーエリアコール機能**）。そのほかの聞きかたは、「ラジオを聞く－応用」（27ページ）をご覧ください。

1 ラジオをつける

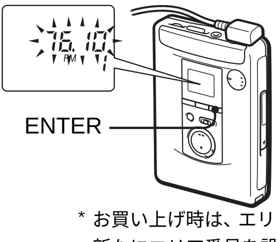


* テープ再生中の場合は、◄►•■を1度押してテープを止めてから、1秒以上押してラジオをつけてください。

2 地域を選ぶ

①ENTERを押す

②「AREA 1」*表示が点滅するまでRADIO ON/BANDを押したままにする



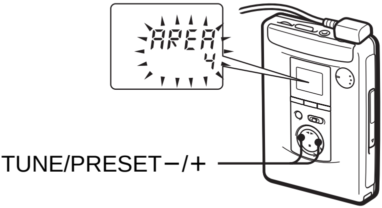


* お買い上げ時は、エリア番号1に設定されています。
新たにエリア番号を設定すると、次回からは設定した番号が表示されます。

③表示の点滅中にTUNE/PRESET＋**または－ボタンを繰り返し押して1～15のエリア番号を選ぶ。**
TUNE/PRESET＋ボタンを押すごとにエリア番号が、1→2→3→…15→USA*→Eur*→1→2→3…と変わります。

エリア番号

番号	**地域**	**番号**	**地域**
1	北海道	9	大阪　京都　兵庫
2	青森　秋田　岩手	10	滋賀　奈良　和歌山
3	宮城　山形　福島	11	鳥取　島根　岡山　広島　山口
4	千葉　埼玉　東京　神奈川		
5	茨城　群馬　栃木	12	徳島　香川　愛媛　高知
6	山梨　静岡　長野	13	福岡　佐賀　長崎　大分
7	愛知　岐阜　三重	14	熊本　宮崎　鹿児島　沖縄
8	新潟　富山　石川　福井	15	JR

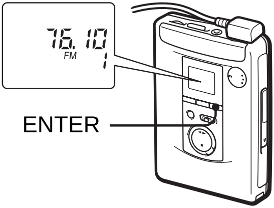


* エリア番号USAとEurは海外でラジオを使うときのものです。(「海外でラジオを聞く」(38ページ) 参照)

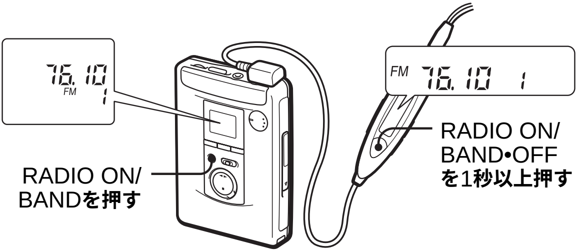
- 表示の点滅が止まった場合は手順2-①から操作し直してください。
- 各エリア番号に記憶されている放送局については「放送局一覧」(34～37ページ)をご覧ください。

(次ページへつづく)

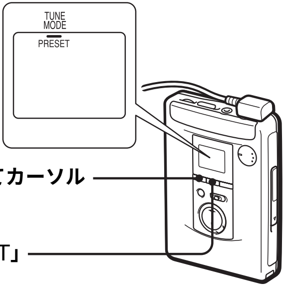
④ENTERを押す



3 AM、FM、またはTVを選ぶ



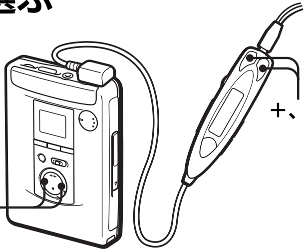
4 プリセット選局モードにする



①MENUボタンを繰り返し押してカーソルをTUNE MODEに合わせる

②SETボタンを押して「PRESET」を表示させる

5 放送局を選ぶ



ラジオを消すには

本体のRADIO OFFボタンまたはリモコンのRADIO ON/BAND•OFFボタンを押します。

次にラジオを聞くときは

呼び出した放送局が記憶されています。同じ地域で聞くときは、手順2の操作は不要です。放送局が異なる地域で聞くときは、手順1〜5をやり直します。

受信状態をよくするには

AM放送

アンテナを内蔵しているので、本体の向きや位置を変えて、聞きやすいように調節します。

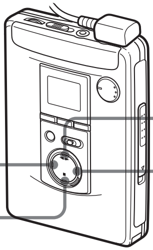
FM放送、TV放送

リモコンつきヘッドホンのコードがアンテナになっているので、できるだけのばして使います。

うまく受信できないときは

手動で受信して、記憶させてください。（「自分で周波数を合わせて聞く」（27ページ）「いつも聞く放送局を記憶させてから聞く」（28ページ）参照）

本体で操作する

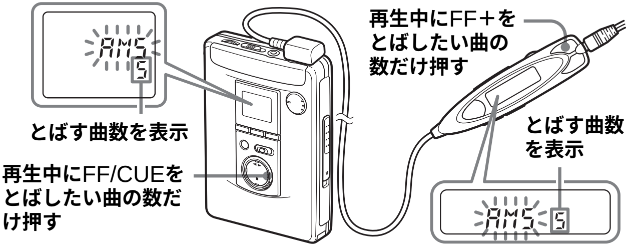


操作	押すボタン	動作の確認音
再生	◀▶•REPEAT	FWD（ふた側）面スタート ピ REV（本体側）面スタート ピピ
再生面の切り換え	再生中に◀▶•REPEAT	FWD（ふた側）面スタート ピ REV（本体側）面スタート ピピ
停止	■（停止）	ピ
早送り/巻き戻し（停止中）*	停止中にFF/CUEまたはREW/REVIEWを1回	ピ
音を聞きながら早送り/巻き戻し（キュー/レビュー）	再生中にFF/CUEまたはREW/REVIEWを押し続ける *押し続けている間だけ早送り／巻き戻しします。*	早送り時: ピ→ピ→ピ、… 巻き戻し時: ピ→ピピ→ピピ、…
早送りして反対面を再生（スキップリバース）	停止中にFF/CUEを2秒以上	ピ→ピ→ピ、ピ、…
巻き戻して最初から再生（オートプレイ）	停止中にREW/REVIEWを2秒以上	ピ→ピ→ピピ、ピピ、…

* 早送り、巻き戻し中にリモコンの◀▶•■ボタンを押すと再生状態になります。

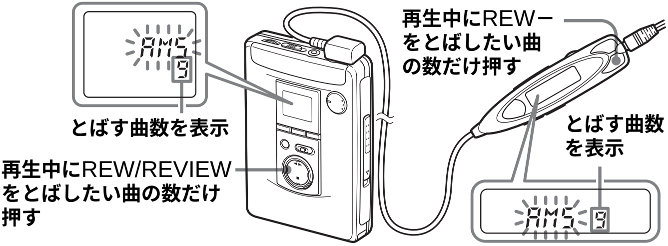
好きな曲を頭出しする（AMSーオートミュージックセンサー）

早送りして何曲か先の曲を再生するには



確認音: ピ→ あと1曲になるとピッピー、ピッピー、・・・

巻き戻して何曲か前の曲を再生するには



確認音：ピ→ あと1曲になるとピピッピー、ピピッピー、・・・

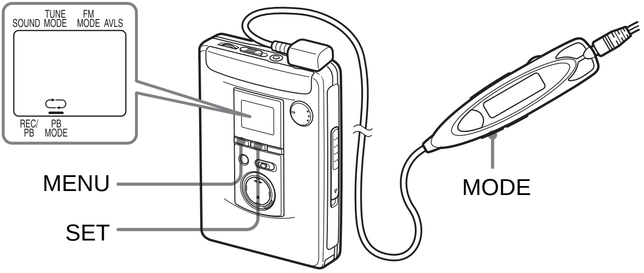
最大9曲までとばすことができます。

AMSが正しく動作しないことがあります

- AMSでは曲間の4秒以上のあき（無音部分）を見つけて頭出しをしています。あきが4秒未満のときや曲間に雑音があるとき、曲の直前や直後に操作したときは、頭出しができないことがあります。また、曲中に音の小さい部分や長い無音部分があると、そこで頭出しをすることがあります。
- AMSの途中で停止することがありますが、故障ではありません。詳しくは「故障かな？」（50ページ）をご覧ください。

テープ走行のしかたを選ぶ（PB MODE）

プレイバックモード



テープ走行のしかたを選べます。

リモコン表示	本体表示（PB MODE）	モード
⊂⊃	⊂⊃	両面を繰り返し再生
⊃	⊃	両面を1回再生*

* REV面から始めたときはREV面のみを再生して止まります。

リモコンで操作するには

MODEボタンを繰り返し押して、表示を切り換えます。

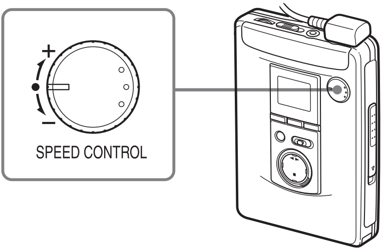
本体で操作するには

MENUボタンを繰り返し押して、表示窓のカーソルを、PB MODEの位置に合わせます。SETボタンを押して、表示を切り換えます。

ご注意

- 設定は、電池を交換しても消えません。

テープの再生スピードを調節する（スピードコントロール）



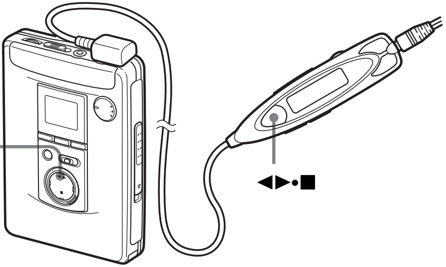
スピードコントロールつまみで、再生スピードを調節します。

再生速度	つまみの位置
ゆっくり再生する	−方向にまわす。
通常の速度で再生する	中央
速く再生する	+方向にまわす。

ご注意

- 録音中はスピードコントロール機能は使えません。
- 電池が消耗しているときに、スピードコントロールつまみを急に動かすと停止することがあります。ゆっくり動かすか、電池を交換してください。

指定した区間を繰り返し聞く（A-B区間リピート）



指定した区間を繰り返し聞くことができます。
テープ再生中、繰り返し聞きたい区間の最初（A点）と最後（B点）を指定します。

リモコンで操作する

1 テープ再生中に◀▶•■をすばやく2回押して、A点を指定する

2 そのあとで◀▶•■をもう一度押して、B点を指定する
指定した区間が繰り返し再生されます。

本体で操作する

1 テープ再生中に◀▶•REPEATを2秒以上押して、A点を指定する
本体の表示窓に「A–」が点滅します。

2 そのあとで◀▶•REPEATをもう一度押して、B点を指定する
本体の表示窓に「A–B」が点滅したあと「REP」が表示され、指定した区間が繰り返し再生されます。

A-B区間リピートを止めるには

リモコンの◀▶•■または本体の◀▶•REPEATボタンを押します。
テープは通常の再生に戻ります。

ご注意

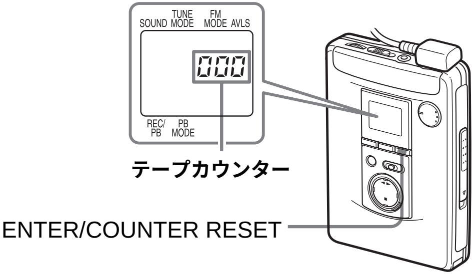
- テープのFWD(REV)面からREV(FWD)面にまたがるA-B区間リピートはできません。
- 2秒以下のリピート区間を設定することはできません。
- テープのたるみやテープ操作の繰り返しによって、リピート区間に多少のズレが生じることがあります。
- A-B区間リピートは、50回繰り返すと、通常の再生に戻ります。
- A-B区間リピート中に停止することがありますが、故障ではありません。詳しくは「故障かな?」(50ページ)をご覧ください。
- 90分を超えるテープでは、A-B区間リピートはしないでください。テープを傷めるおそれがあります。

テープカウンターを使う

テープ再生中、録音中、早送り、巻き戻し中、キュー、レビュー中、停止中（ラジオ受信時を除く）に表示されます。

FWD面録音/再生中は数字が増え、REV面録音/再生中は数字が減ります。

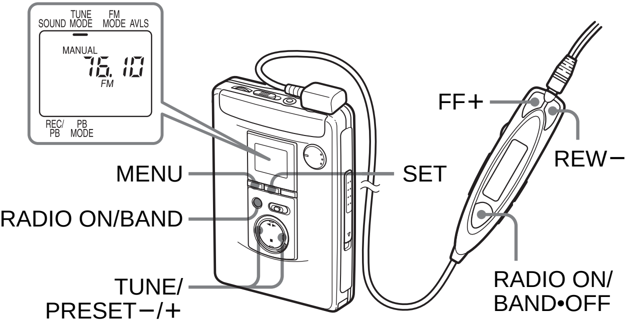
テープカウンターを「000」に戻すには、ENTER/COUNTER RESETボタンを押します。



ご注意

- テープカウンター表示は少しずれることがあります。
- カセットテープが入っていないときは、テープカウンターは表示されません。

自分で周波数を合わせて聞く（マニュアル選局）



1 RADIO ON/BAND**ボタンを押してラジオをつける**
（リモコンでは、テープが停止している状態でRADIO ON/BAND•OFFボタンを1秒以上押す）

2 RADIO ON/BAND**ボタンを繰り返し押して、**AM**、**FM**または**TV**を選ぶ**
（リモコンでは、RADIO ON/BAND•OFFボタンを1秒以上押す）

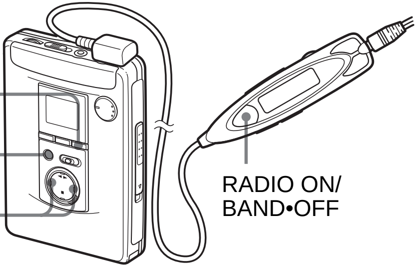
3 **本体の**MENU**ボタンを繰り返し押して、カーソルを** TUNE MODE**の位置に合わせる**

4 SET**ボタンを押して「**MANUAL**」を表示させる**

5 TUNE/PRESET＋**または−ボタンを繰り返し押して表示窓を見ながら周波数を合わせる**
（リモコンでは、FF＋またはREW−ボタンを繰り返し押す）
TUNE/PRESET＋または−ボタンを長めに押して離すと、電波が強い放送局を自動的に受信して止まります（オートスキャン）。電波が弱くて止まらないときは、TUNE/PRESET＋または−ボタンを繰り返し押して周波数を合わせてください。

いつも聞く放送局を記憶させてから聞く（プリセット）

いつも聞く放送局をAM、FM、TV各8局、合計24局まで記憶させることができます。聞くときは、記憶させた番号（プリセット番号）で聞く局を選びます。



❐ 放送局を自動で受信して記憶させる

受信状態のよい場所で操作してください。

1 RADIO ON/BAND**ボタンを押してラジオをつける**
（リモコンでは、テープが停止している状態でRADIO ON/BAND•OFFボタンを1秒以上押す）

2 RADIO ON/BAND**ボタンを繰り返し押して、**AM、FM**または**TV**を選ぶ**
（リモコンでは、RADIO ON/BAND•OFFボタンを1秒以上押す）

3 ENTER**ボタンを3秒以上押したままにする**
プリセット番号「1」が点滅し、周波数の低い局から高い局へ受信状態の良い局を自動的に探し始めます（スキャン）。受信できる放送局では約5秒間止まります。

4 記憶させたい放送局で、ENTERボタンを押す

その放送局がプリセット番号「1」に記憶され、次のプリセット番号の点滅に変わります。そして同時にスキャンが再開されます。

5 記憶させたい放送局が受信されるごとに、手順4を繰り返す

周波数の高い局までスキャニングが一巡すると、「ピー」と鳴って終了します。

スキャンを止めるには

本体のRADIO OFFボタンまたはリモコンのRADIO ON/BAND•OFFボタンを押します。その場合、ラジオも止まります。

記憶させた放送局を受信するには

31ページをご覧ください。

ご注意

- 電波が弱いときは記憶できる放送局が少なくなる場合があります。
- 同じプリセット番号に、新たに別の放送局を記憶させると、すでに記憶されていた放送局は消去されます。
- エリア番号(16〜19ページ参照)を切り換えると、放送局の記憶は34〜37ページの表のプリセット番号の内容に戻ります。

電波が弱く聞きたい放送局でスキャンが止まらなかったときや、特定のプリセット番号に記憶させたいときは

1 RADIO ON/BANDボタンを押してラジオをつける

(リモコンでは、テープが停止している状態でRADIO ON/BAND•OFFボタンを1秒以上押す)

2 RADIO ON/BANDボタンを繰り返し押して、AM、FMまたはTVを選ぶ

(リモコンでは、RADIO ON/BAND•OFFボタンを1秒以上押す)

3 ENTERボタンを押す

周波数表示が点滅します。

(次ページへつづく)

4　周波数の点滅中*にTUNE/PRESET＋または－ボタンを繰り返し押して記憶させたい周波数を表示させ、ENTERボタンを押す

プリセット番号が点滅します。

5　プリセット番号の点滅中*にTUNE/PRESET＋または－ボタンを繰り返し押して記憶させたいプリセット番号を点滅させる

6　プリセット番号の点滅中にENTERボタンを押す

これで、選んだ放送局が、選んだプリセット番号に記憶されました。

* 表示の点滅が止まった場合は、手順3から操作し直してください。

記憶させた放送局を受信するには

31ページをご覧ください。

ご注意

- 同じプリセット番号に、新たに別の放送局を記憶させると、すでに記憶されていた放送局は消去されます。
- エリア番号を切り換えると、放送局の記憶は34〜37ページの表のプリセット番号の内容に戻ります。

特定のプリセット番号の記憶を消すには

1　31ページの「記憶させた放送局を聞く」の手順1から5を行い、消したい周波数とプリセット番号を表示させる

2　ENTERボタンを押して周波数表示を点滅させる

3　表示の点滅中にTUNE/PRESET＋または－ボタンを繰り返し押して「－－－－」* を表示させる

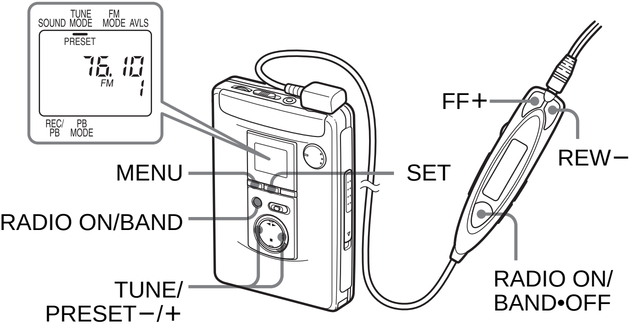
*「－－－－」は最大周波数あるいは最小周波数の次に表示されます。

4　「－－－－」の点滅中にENTERボタンを押す

プリセット番号表示が点滅します。

5　プリセット番号表示の点滅中にENTERボタンを押す

記憶させた放送局を聞く（プリセット選局）



1 RADIO ON/BAND**ボタンを押してラジオをつける**

（リモコンでは、テープが停止している状態でRADIO ON/BAND•OFFボタンを1秒以上押す）

2 RADIO ON/BAND**ボタンを繰り返し押して、**AM、FM**または**TV**を選ぶ**

（リモコンでは、RADIO ON/BAND•OFFボタンを1秒以上押す）

3 本体のMENU**ボタンを繰り返し押して、カーソルを**TUNE MODE**の位置に合わせる**

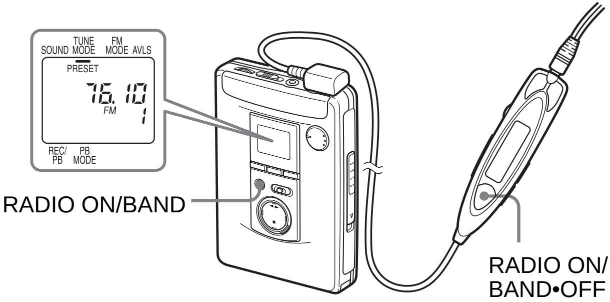
4 SET**ボタンを押して「**PRESET**」を表示させる**

5 TUNE/PRESET**＋または－ボタンを繰り返し押してプリセット番号を選ぶ**

（リモコンでは、FF＋またはREW－ボタンを繰り返し押す）

❐ プリセット選局の便利な聞きかた

記憶させた放送局を、プリセット番号1から順に約5秒間ずつ自動受信します。そのときの放送内容をひととおり聞きながら選べるので、聞きたい放送局が決まっていないときなどに便利です。



1　31ページの「記憶させた放送局を聞く」の手順1から4にしたがってラジオをつける

2　RADIO ON/BANDボタンを2秒以上押したままにする

表示窓の表示が点滅し、記憶された局がプリセット番号1から順に約5秒間ずつ放送されます。

3　聞きたい放送局が放送されている間にRADIO ON/BANDボタンを押す

これで、選んだ放送局を受信できます。

ご注意

- 放送局が1局も記憶されていない場合は、この機能は働きません。
- TUNE MODEを「PRESET」に設定していない場合は、この機能は働きません。
- 手順3で聞きたい放送局を選択しないと、手順2のままで、記憶させた局を約5秒間ずつ放送し続けます。

ラジオを聞くときのご注意

受信するとき

- このラジオのテレビ音声回路は、FM放送の受信回路と兼用になっています。このため、一部の地域ではテレビ2、または3チャンネルの音声を受信中、FM放送が混じって聞こえることがあります。その場合にはお客様ご相談センターにご相談ください。
- 本体やリモコンを他のラジオやテレビ、コンピューターなどに近づけると、本機のラジオに雑音が入ることがありますので、離してお使いください。
- 一部が金属製のテープをお使いのとき、受信状態が悪くなることがあります。その場合はテープを抜いてラジオをお聞きください。

ステレオ放送を聞くとき

FMのステレオ放送を聞くときは本体のMENUボタンを繰り返し押して、表示窓のカーソルをFM MODEの位置に合わせ、SETボタンを押して表示なし（ステレオ）にします。電波が強すぎてひずんで聞こえる場合は「LOCAL」を表示させます。雑音が多いときは「MONO」（モノラル）にすると聞きやすくなりますが、ステレオではなくなります。なお、AMおよびTVはステレオにはなりません。

放送局一覧

エリア番号表（スーパーエリアコールの放送局一覧）

スーパーエリアコールの使いかたは、16〜19ページをご覧ください。

AREA 1	北海道（北海道）		
バンド	プリセット番号	周波数（チャンネル）	放送局名
AM	1	567kHz	NHK第1
	2	747kHz	NHK第2
	3	1287kHz	HBCラジオ（北海道放送）
	4	1440kHz	STVラジオ（札幌テレビ放送）
FM	1	80.4MHz	AIR-G'（FM北海道）
	2	82.5MHz	FM NORTH WAVE
	3	85.2MHz	NHK FM
TV	1	1 ch	HBCテレビ（北海道放送）
	2	3 ch	NHK総合テレビ
	3	4 ch	HTB（北海道テレビ）
	4	5 ch	STVテレビ（札幌テレビ）
	5	12 ch	NHK教育テレビ

AREA 2	東北 1（青森 秋田 岩手）		
AM	1	531kHz	NHK第1
	2	684kHz	IBCラジオ（岩手放送）
	3	774kHz	NHK第2
	4	936kHz	ABSラジオ（秋田放送）
	5	1233kHz	RABラジオ（青森放送）
	6	1575kHz	AFN（旧FEN）
FM	1	76.1MHz	FM岩手
	2	80.0MHz	FM青森
	3	82.8MHz	FM秋田
	4	86.0MHz	NHK FM
TV	1	1 ch	RABテレビ（青森放送）
	2	3 ch	NHK総合テレビ
	3	5 ch	NHK教育テレビ
	4	6 ch	IBCテレビ（岩手放送）
	5	11 ch	ABSテレビ（秋田放送）

AREA 3	東北 2（宮城 山形 福島）		
バンド	プリセット番号	周波数（チャンネル）	放送局名
AM	1	891kHz	NHK第1
	2	918kHz	YBCラジオ（山形放送）
	3	1089kHz	NHK第2
	4	1260kHz	TBCラジオ（東北放送）
	5	1458kHz	RFC（ラジオ福島）
FM	1	77.1MHz	Date fm（FM仙台）
	2	80.4MHz	FM山形
	3	81.8MHz	ふくしまFM
	4	82.5MHz	NHK FM
TV	1	1 ch	TBCテレビ（東北放送）
	2	3 ch	NHK総合テレビ
	3	5 ch	NHK教育テレビ
	4	10 ch	YBCテレビ（山形放送）
	5	11 ch	FTV（福島テレビ）
	6	12 ch	仙台放送

AREA 4	関東 1（千葉 埼玉 東京 神奈川）		
AM	1	594kHz	NHK第1
	2	693kHz	NHK第2
	3	810kHz	AFN (旧FEN)
	4	954kHz	TBSラジオ
	5	1134kHz	文化放送
	6	1242kHz	ニッポン放送
	7	1422kHz	ラジオ日本
FM	1	76.1MHz	Inter FM
	2	78.0MHz	BAY-FM（FMサウンド千葉）
	3	79.5MHz	NACK5（FM埼玉）
	4	80.0MHz	TOKYO FM（FM東京）
	5	81.3MHz	J-WAVE FM ジャパン
	6	82.5MHz	NHK FM
	7	84.7MHz	FMヨコハマ

バンドプリセット	番号	周波数 (チャンネル)	放送局名
TV	1	1 ch	NHK総合テレビ
	2	3 ch	NHK教育テレビ
	3	4 ch	日本テレビ
	4	6 ch	TBSテレビ
	5	8 ch	フジテレビ
	6	10 ch	テレビ朝日
	7	12 ch	テレビ東京

AREA 5		**関東 2(茨城 群馬 栃木)**	
AM	1	594kHz	NHK第1
	2	693kHz	NHK第2
	3	954kHz	TBSラジオ
	4	1134kHz	文化放送
	5	1197kHz	IBS(茨城放送)
	6	1242kHz	ニッポン放送
	7	1530kHz	CRT(栃木放送)
FM	1	76.4MHz	RADIO BERRY (FM栃木)
	2	78.8MHz	放送大学
	3	83.2MHz	NHK FM
	4	86.3MHz	FMぐんま
TV	1	1 ch	NHK総合テレビ
	2	3 ch	NHK教育テレビ
	3	4 ch	日本テレビ
	4	6 ch	TBSテレビ
	5	8 ch	フジテレビ
	6	10 ch	テレビ朝日
	7	12 ch	テレビ東京

AREA 6		**中部(山梨 静岡 長野)**	
AM	1	639kHz	NHK第2
	2	765kHz	YBSラジオ(山梨放送)
	3	882kHz	NHK第1
	4	1098kHz	SBCラジオ(信越放送)
	5	1404kHz	SBSラジオ(静岡放送)
FM	1	79.2MHz	K-MIX(FM静岡)
	2	79.7MHz	FM長野
	3	83.0MHz	FM-FUJI
	4	88.8MHz	NHK FM

バンドプリセット	番号	周波数 (チャンネル)	放送局名
TV	1	2 ch	NHK総合テレビ
	2	5 ch	YBS(山梨放送)
	3	9 ch	NHK教育テレビ
	4	11 ch	SBCテレビ(信越放送)
	5	11 ch	SBSテレビ(静岡放送)

AREA 7		**東海(愛知 岐阜 三重)**	
AM	1	729kHz	NHK第1
	2	909kHz	NHK第2
	3	1053kHz	CBCラジオ (中部日本放送)
	4	1332kHz	東海ラジオ
	5	1431kHz	岐阜ラジオ(岐阜放送)
FM	1	77.8MHz	ZIP-FM(FM名古屋)
	2	78.9MHz	FM三重
	3	79.5MHz	RADIO-i (愛知国際放送)
	4	80.0MHz	RADIO 80(岐阜FM)
	5	80.7MHz	FM AICHI(FM愛知)
	6	82.5MHz	NHK FM
TV	1	1 ch	THK(東海テレビ)
	2	3 ch	NHK総合テレビ
	3	5 ch	CBCテレビ (中部日本放送)
	4	9 ch	NHK教育テレビ
	5	11 ch	NBN(名古屋テレビ)

AREA 8		**北陸(新潟 富山 石川 福井)**	
AM	1	738kHz	KNBラジオ (北日本放送)
	2	837kHz	NHK第1
	3	864kHz	FBCラジオ(福井放送)
	4	1107kHz	MROラジオ(北陸放送)
	5	1116kHz	BSNラジオ(新潟放送)
	6	1593kHz	NHK第2
FM	1	76.1MHz	FM福井
	2	77.5MHz	FM新潟
	3	79.0MHz	FM PORT
	4	80.5MHz	FM石川
	5	82.3MHz	NHK FM
	6	82.7MHz	FMとやま

(次ページへつづく)

バンドプリセット番号		周波数(チャンネル)	放送局名
TV	1	1 ch	KNBテレビ(北日本放送)
	2	5 ch	BSNテレビ(新潟放送)
	3	6 ch	MRO(北陸放送)
	4	8 ch	NHK総合テレビ
	5	11 ch	FBCテレビ(福井放送)
	6	12 ch	NHK教育テレビ

AREA 9　近畿 1(大阪 京都 兵庫)

AM	1	558kHz	AM KOBE(ラジオ関西)
	2	666kHz	NHK第1
	3	828kHz	NHK第2
	4	1008kHz	ABCラジオ(朝日放送)
	5	1143kHz	KBS京都
	6	1179kHz	MBSラジオ(毎日放送)
	7	1314kHz	OBC(ラジオ大阪)
FM	1	76.5MHz	FM CO•CO•LO(関西インターメディア)
	2	80.2MHz	FM802
	3	85.1MHz	fm osaka(FM大阪)
	4	88.1MHz	NHK FM
	5	89.4MHz	α-STATION(FM京都)
	6	89.9MHz	Kiss-FM(FM兵庫)
TV	1	2 ch	NHK総合テレビ
	2	4 ch	MBSテレビ(毎日放送)
	3	6 ch	ABCテレビ(朝日放送)
	4	8 ch	KTV(関西テレビ)
	5	10 ch	YTV(読売テレビ)
	6	12 ch	NHK教育テレビ

AREA 10　近畿 2(滋賀 奈良 和歌山)

AM	1	666kHz	NHK第1
	2	828kHz	NHK第2
	3	1008kHz	ABCラジオ
	4	1143kHz	KBS京都
	5	1179kHz	MBSラジオ(毎日放送)
	6	1314kHz	OBC(ラジオ大阪)
	7	1431kHz	WBSラジオ(和歌山放送)

バンドプリセット番号		周波数(チャンネル)	放送局名
FM	1	76.5MHz	FM CO•CO•LO(関西インターメディア)
	2	77.0MHz	E-Radio(FM滋賀)
	3	80.2MHz	FM802
	4	84.0MHz	NHK FM
	5	85.1MHz	fm osaka
	6	89.4MHz	α-STATION(FM京都)
TV	1	2 ch	NHK総合テレビ
	2	4 ch	MBSテレビ(毎日放送)
	3	6 ch	ABCテレビ(朝日放送)
	4	8 ch	KTV(関西テレビ)
	5	10 ch	YTV(読売テレビ)
	6	12 ch	NHK教育テレビ

AREA 11　中国(鳥取 島根 岡山 広島 山口)

AM	1	702kHz	NHK第2
	2	765kHz	KRYラジオ(山口放送)
	3	900kHz	BSSラジオ(山陰放送)
	4	1071kHz	NHK第1
	5	1350kHz	RCCラジオ(中国放送)
	6	1494kHz	RSKラジオ(山陽放送)
	7	1575kHz	AFN(旧FEN)
FM	1	76.8MHz	FM岡山
	2	77.4MHz	FM山陰
	3	78.2MHz	広島FM放送
	4	79.2MHz	FM山口
	5	88.3MHz	NHK FM
TV	1	1 ch	NKT(日本海テレビ)
	2	3 ch	NHK教育テレビ
	3	4 ch	RCCテレビ(中国放送)
	4	5 ch	NHK総合テレビ
	5	10 ch	BSSテレビ(山陰放送)
	6	11 ch	山陽放送/山口放送
	7	12 ch	HTV(広島テレビ)

AREA 12　四国(徳島 香川 愛媛 高知)

AM	1	900kHz	RKCラジオ(高知放送)
	2	990kHz	NHK第1
	3	1116kHz	RNB(南海放送)
	4	1152kHz	NHK第2
	5	1269kHz	JRTラジオ(四国放送)
	6	1449kHz	RNCラジオ(西日本放送)

バンド	プリセット番号	周波数(チャンネル)	放送局名
FM	1	78.6MHz	FM香川
	2	79.7MHz	FM愛媛
	3	80.7MHz	FM徳島
	4	81.6MHz	FM高知
	5	86.0MHz	NHK FM
TV	1	1 ch	JRTテレビ(四国放送)
	2	4 ch	NHK総合テレビ
	3	6 ch	NHK教育テレビ
	4	8 ch	RKCテレビ(高知放送)
	5	9 ch	RNCテレビ(西日本放送)
	6	10 ch	RNBテレビ(南海放送)

AREA 13　九州 1(福岡 佐賀 長崎 大分)

AM	1	612kHz	NHK第1
	2	1017kHz	NHK第2
	3	1098kHz	OBSラジオ(大分放送)
	4	1233kHz	NBCラジオ(長崎放送)
	5	1278kHz	RKBラジオ(毎日放送)
	6	1413kHz	KBCラジオ(九州朝日放送)
FM	1	76.1MHz	Love FM(九州国際FM)
	2	77.9MHz	FM佐賀
	3	78.7MHz	CROSS-FM(FM九州)
	4	79.5MHz	SMILE-FM(FM長崎)
	5	80.7MHz	FM福岡
	6	84.8MHz	NHK FM
	7	88.0MHz	FM大分
TV	1	1 ch	KBCテレビ(九州朝日放送)
	2	3 ch	NHK総合テレビ
	3	4 ch	RKB毎日放送
	4	5 ch	NBCテレビ(長崎放送)
	5	5 ch	OBSテレビ(大分放送)
	6	6 ch	NHK教育テレビ
	7	9 ch	TNC(テレビ西日本)

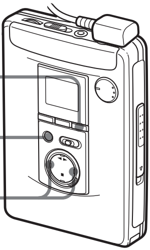
AREA 14　九州 2(熊本 宮崎 鹿児島 沖縄)

バンド	プリセット番号	周波数(チャンネル)	放送局名
AM	1	576kHz	NHK第1
	2	738kHz	RBC(琉球放送)
	3	864kHz	ROK(ラジオ沖縄)
	4	936kHz	MRTラジオ(宮崎放送)
	5	1107kHz	MBC(南日本放送)
	6	1197kHz	RKKラジオ(熊本放送)
	7	1386kHz	NHK第2
FM	1	77.4MHz	FM中九州
	2	79.8MHz	FM鹿児島
	3	83.2MHz	FM宮崎
	4	86.2MHz	NHK FM
	5	87.3MHz	FM沖縄
	6	89.1MHz	AFN(旧FEN)
TV	1	1 ch	MBC(南日本放送)
	2	3 ch	NHK総合テレビ
	3	5 ch	NHK教育テレビ
	4	8 ch	OTV(沖縄テレビ)
	5	10 ch	MRTテレビ(宮崎放送)
	6	10 ch	RBC(琉球放送)
	7	11 ch	RKKテレビ(熊本放送)

AREA 15　JR

FM	1	76.0MHz	ー
	2	76.6MHz	ー
	3	77.5MHz	ー
	4	78.8MHz	ー
	5	79.6MHz	ー

海外でラジオを聞く



1 RADIO ON/BAND**ボタンを押してラジオをつける**

2 ENTER**ボタンを押して、周波数表示を点滅させせる**

3 **「**AREA 1**」*****表示が点滅するまで**RADIO ON/BAND**ボタンを押したままにする**

* または設定したエリア番号が表示されます。

4 **表示の点滅中*に**TUNE/PRESET＋**または－ボタンを繰り返し押して「**USA**」または「**Eur**」を選ぶ**

* 表示の点滅が止まった場合は手順2から操作し直してください。

受信範囲は下記のようになります。

使う地域	選ぶエリア番号	受信周波数
アメリカ合衆国、カナダ 中南米諸国	USA	FM: 87.5 - 108MHz AM: 530 - 1 710kHz
ヨーロッパ、その他	Eur	FM: 87.5 - 108MHz AM: 531 - 1 602kHz

5 ENTER**ボタンを押す**

6 **「自分で周波数を合わせて聞く」（**27**ページ）または「いつも聞く放送局を記憶させてから聞く」（**28**ページ）にしたがって受信する**

ご注意

- 「USA」または「Eur」にエリアを切り換えると、「AREA1〜15」に自分で設定した放送局（28、29ページ）の記憶は消えてしまいますのでご注意ください。

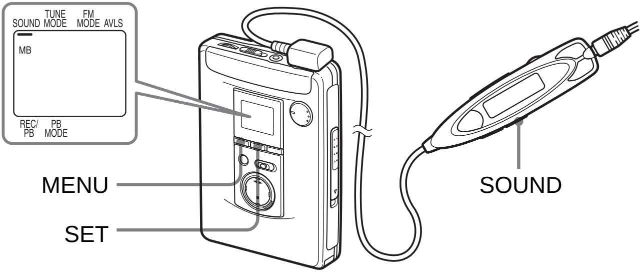
日本の周波数に戻すには

手順1から3にしたがって操作し、手順4で「AREA1〜15」を選んでENTERボタンを押します。

ご注意

- 一度エリアを切り換えてから「AREA1〜15」に戻すと、自分で設定した放送局（28〜30ページ）がある場合も、放送局の記憶は34〜37ページの表のプリセット番号の内容に戻ります。

高音または低音を強調する（SOUND）



リモコンまたは本体で、好みの音質を選べます。

リモコン表示	音質
RV（リバイブ）	高音を強調（古いテープなど、高音にメリハリがないテープを再生するとき）
MB（メガベース）	低音を強調
GRV（グルーブ）	低音をより強調
表示なし	通常の音質

リモコンで操作するには

SOUNDボタンを繰り返し押して、音質を選びます。
通常の音質を選ぶ場合は、表示なしにしてください。

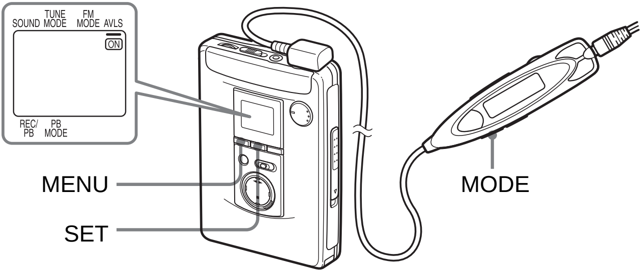
本体で操作するには

MENUボタンを繰り返し押して、表示窓のカーソルを、SOUNDの位置に合わせます。SETボタンを押して、音質を選びます。通常の音質を選ぶ場合は、表示なしにしてください。

ご注意

- GRVにしたときに音がひずんだように聞こえる曲では、他の音質を選ぶか、または本体の音量を下げてお聞きください。
- 設定は、電池を交換しても消えません。
- 音質の設定は、録音される音には影響しません。

音もれを抑え耳にやさしい音にする（AVLS−快適音量）



リモコン表示	本体表示（AVLS）	モード
AVLS	ON	AVLS入
表示なし	表示なし	AVLS切

リモコンで操作するには

表示窓に「AVLS」が表示されるまでMODEボタンを押します。（約10秒）

AVLSを解除するには

「AVLS」の表示が消えるまでMODEボタンを押したままにします。（約3秒）

本体で操作するには

MENUボタンを繰り返し押して、表示窓のカーソルを、AVLSの位置に合わせます。SETボタンを押して、「ON」を表示させます。

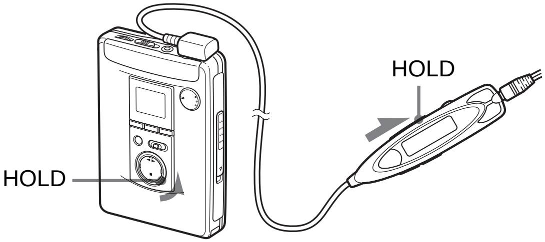
AVLSを解除するには

SETボタンを押して、「ON」の表示を消します。

ご注意

- AVLSの設定は、電池を交換すると解除されます。
- AVLSの設定は、録音される音には影響しません。

誤操作を防ぐ（ホールド機能）



HOLDスイッチを矢印の方向にずらして、誤操作を防ぎます。

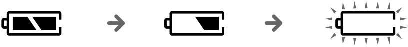
ご注意

- SPEED CONTROLつまみにはホールド機能は働きません。

乾電池・充電式電池の取り替え時期は

電池が消耗すると、電池交換お知らせ表示が点滅します。テープ走行が不安定になったり雑音が多くなるので、乾電池は新しいものと交換し、充電式電池は充電し直してください。
乾電池は、別売りのソニーアルカリ乾電池のご使用をおすすめします。

電池の残量がなくなってくると、表示でお知らせします

リモコン表示			
本体表示			
意味	残量は充分です。	残量が少なくなってきました。	電池が消耗しています。しばらくすると、本体の動作が止まります。

ご注意

- 100%充電されていない充電式電池を入れても残量表示がすべて点灯することがありますが、充電量（充電時間）に応じて、持続時間は短くなります。
- 早送りや巻き戻し中、または極端に温度が低い場所で使用しているときは、残量が少なく表示されることがあります。

（次ページへつづく）

電池の持続時間*

使用電池	テープ再生時	ラジオ受信時	マイク録音時	ラジオ録音時
ソニーアルカリ乾電池LR6（SG）**	約44時間	約56時間	約15時間	約12時間
充電式ニッケル水素電池NH-14WM（A）（100%充電にて）	約26時間	約34時間	約9時間	約7時間
充電式ニッケル水素電池とソニーアルカリ乾電池の併用	約70時間	約90時間	約24時間	約19時間

* 電子情報技術産業協会（JEITA）の測定方法に基づいています。（ソニーHF シリーズカセットテープ使用）

**日本製ソニースタミナアルカリ乾電池LR6（SG）で測定しています。

ご注意

- 電池持続時間は、周囲の温度や使用状態、電池の種類により短くなる場合があります。
- マンガン乾電池でご使用になると、A–B区間リピートやAMS中などに停止してしまう場合があります。

コンセントにつないで使う

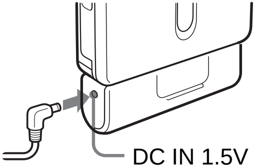
コンセントにつないで使うときは、別売りのACパワーアダプター
AC-E15Lをご用意ください。

1 乾電池ケースを本体に取りつける

本体に充電式電池が入っていたら取り出してください。

2 別売りのACパワーアダプター AC-E15Lを、乾電池ケース側面の DC IN 1.5Vジャックにつなぐ

3 ACパワーアダプターをコンセントにつなぐ



電源

お手入れ

よい音でテープを聞くために

10時間程度使ったら、市販の綿棒とクリーニング液でヘッド、キャプスタン、ピンチローラーをきれいにしてください。

クリーニングカセットは指定のものをお使いください
他のクリーニングカセットを使うと故障の原因となることがあります。

本体表面が汚れたときは

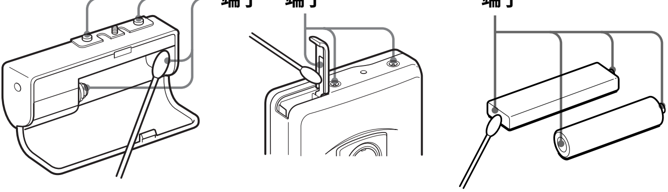
水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコールは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

ヘッドホンおよびリモコンのプラグのお手入れについて

常によい音でお聞きいただくために、プラグをときどき柔らかい布でからぶきし、清潔に保ってください。汚れていると、雑音の原因になることがあります。

端子のお手入れについて

定期的に図のように各端子を綿棒や柔らかい布などで、きれいにしてください。



使用上のご注意

充電について

- 付属の充電スタンドは本機専用です。他機の充電はできません。
- 付属の充電スタンドでは指定の電池以外は充電しないでください。
- お買い上げ時や長い間使わなかった充電式電池は、持続時間が短いことがあります。これは電池の特性によるもので、数回使えば充分充電されるようになります。
- 充電が終わったら、早めに本体を充電スタンドからはずし、ACパワーアダプターをコンセントから抜いてください。長時間差したままにすると、電池の性能を低下させることがあります。
- 充電中は充電スタンドや充電式電池が熱くなりますが、危険はありません。

日本国内での充電式電池の廃棄について

Ni-MH ニッケル水素電池は、リサイクルできます。不要になったニッケル水素電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収•リサイクルおよびリサイクル協力店については社団法人電池工業会のホームページhttp://www.baj.or.jp/を参照してください。

海外での充電式電池の廃棄について

各国の法規制にしたがって廃棄してください。

ACパワーアダプターについて

- この製品には、付属または指定のACパワーアダプター（極性統一形プラグ：JEITA規格）をご使用ください。それ以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。
- ACパワーアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。



極性統一形プラグ

（次ページへつづく）

- ACパワーアダプターをご使用時は、以下の点にご注意ください。
  - 本機を棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に置かないでください。
  - 火災や感電の危険をさけるために、水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、本機の上に花瓶など、水の入ったものを置かないでください。

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- リモコンやヘッドホンのコードを強く引っぱらないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
  - 温度が非常に高いところ。
  - 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  - 窓を閉めきった自動車内(特に夏季)。
  - 風呂場など湿気の多いところ。
  - 磁石、スピーカー、テレビなど磁気を帯びたものの近く。
  - ほこりの多いところ。
- 温度が高いところ(40℃以上)や低いところ(0℃以下)では液晶表示が見にくくなったり、表示の変わりかたがゆっくりになることがあります。常温になればもとに戻ります。
- 長い間本機を使わなかったときは、1度本機を数分間再生状態にしてからお使い始めください。
- 動作中はカセットぶたを開けないでください。テープがたるみ、テープを傷めるおそれがあります。テープがたるんでしまったときは、必ずたるみを取ってから使用してください。
- 長時間テープについて
  90分をこえるテープはなるべくお使いにならないでください。テープが非常に薄いため、動作が不安定になって音がゆれたり、まれに機械に巻き込まれる場合があります。また、音が小さかったり、高音ののびが悪くなることがあります。
- ヘッドホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはお客様ご相談センターにご相談ください。

ヘッドホンについて

- 交通安全のために
  自転車やバイク、自動車などの運転中は、ヘッドホンは絶対に使わないでください。
  歩行中でも音量を上げすぎるとまわりの音が聞こえなくなり危険です。とくに、踏切や横断歩道では充分にご注意ください。
- 耳を守るために
  耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。耳を守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。
- まわりの人のことを考えて
  ヘッドホンは、音量を上げすぎると音が外に漏れます。音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。

雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、ヘッドホンで聞くときはいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

リモコンについて

付属のリモコンは本機専用です。また、他機種に付属のリモコンで本機の操作はできません。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

故障かな？

故障とお考えになる前に、次のような点をご確認ください。

症状	原因	処置
A-B区間リピート、AMSや早送り・巻き戻しをするとテープが止まる	消耗した充電式電池または乾電池を使っている。マンガン乾電池を使っている。（A-B区間リピートやAMSなどは再生と比べて電流を多く消費するためです。）	充電式電池を充電する。 乾電池は新しいソニーアルカリ乾電池と交換する。
「ピピピピ」とエラー音が鳴り、操作できない	電池が消耗している。	充電式電池を充電する。 乾電池は新しいソニーアルカリ乾電池と交換する。
操作できない	電池が消耗している。	充電式電池を充電する。 乾電池は新しいソニーアルカリ乾電池と交換する。
	本体またはリモコンのホールド機能が働いている。	ホールドを解除する。「誤操作を防ぐ」（42ページ）参照
「ピピピピピピピピ」と鳴り、テープ操作ができない	カセットが入っていない。	カセットを入れる。
雑音が入ることがある	近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している。	携帯電話などから離して使用する。
	ACパワーアダプターの近くで使用している。	ACパワーアダプターから離して使用する。
音が途切れる 雑音がする	ヘッドホンのプラグが汚れている。	ヘッドホンのステレオミニプラグおよびリモコンのプラグをきれいにクリーニングする。
	電池が消耗している。	充電式電池を充電する。 乾電池は新しいソニーアルカリ乾電池と交換する。
A-B区間リピートができない	A-B区間を2秒以内で設定しようとした。	A-B区間を2秒以上に設定する。

症状	原因	処置
RECスイッチをずらすと警告音が鳴り、録音が始まらない	テープの誤消去防止用のツメが折れている。	穴をセロハンテープなどでふさぐ。「大切な録音を守るには」（12ページ）参照
音量が大きくならない	AVLSが働いている。	AVLSを解除する。「音もれを抑え耳にやさしい音にする」（41ページ）参照
低音が強すぎたり、ひずんだように聞こえる	音質がRV、MBまたはGRVになっている。	音質を通常の設定にする。「高音または低音を強調する」（40ページ）参照
再生速度が速すぎる/遅すぎる 再生音がおかしい	録音／再生時間 2×（2倍）モードの設定が、録音時と異なる。	録音した時と同じ設定にする。「再生時間を選ぶ」（13ページ参照）
	スピードコントロールつまみが中央以外の位置にある。	スピードコントロールつまみを中央（通常のスピード）の位置にする。「テープの再生スピードを調節する」（23ページ参照）
動作や表示がおかしい	——	いったん電源・電池（乾電池、充電式電池）をはずして、15秒以上たってから入れ直す。
表示窓の表示が一瞬消えることがある ラジオを聞いたりテープの再生はできるが、録音ができない	電池が消耗している。	充電式電池を充電する。 乾電池は新しいソニーアルカリ乾電池と交換する。
充電スタンドのCHGランプが点灯しない	充電式電池が入っていない。	充電式電池を本体に入れる。
	本体または充電スタンドの端子が汚れている。	端子をきれいにクリーニングする。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではカセットプレーヤーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

主な仕様

●カセットコーダー部・共通部

トラック方式	コンパクトカセットステレオ
周波数範囲*	再生時：40〜15 000 Hz 録音・再生時：100〜8 000Hz
入力端子	マイク（ステレオミニ）ジャック1個 最小入力レベル 0.4 mV
出力端子	ヘッドホンジャック（専用リモコンジャック）1個 負荷インピーダンス　8〜300 Ω
実用最大出力(DC時)*	3 mW + 3 mW（16 Ω）
電源	DC 1.5 V 充電式電池（付属：NH-14WM (A)、1.2 V、1 350 mAh (min)、Ni-MH)、単3形乾電池1個
電池持続時間*	乾電池、充電式電池の持続時間については「電池の持続時間」（44ページ）をご覧ください。
本体寸法	約77.1 × 108.0 × 22.5 mm（幅/高さ/奥行き、突起部含まず）
最大外形寸法	約77.7 × 108.7 × 24.0 mm（幅/高さ/奥行き）*
質量	約152 g（本体のみ） 約179 g（充電式電池含む）*

●ラジオ部

受信周波数	FM（ステレオ）：76.0〜90.0MHz AM（モノラル）：531〜1 710kHz TV（モノラル）：1〜12ch

●別売りアクセサリー

ACパワーアダプターAC-E15L、充電式ニッケル水素電池 NH-14WM、ステレオイヤーレシーバー（ヘッドホン）** MDR-ED238SP/MDR-ED31SP（GROOVE対応）、MDR-Q55SL、MDR-848SP、MDR-E931SP、MDR-EX71SL、エレクトレットコンデンサーマイクロホンECM-719、ECM-D570P

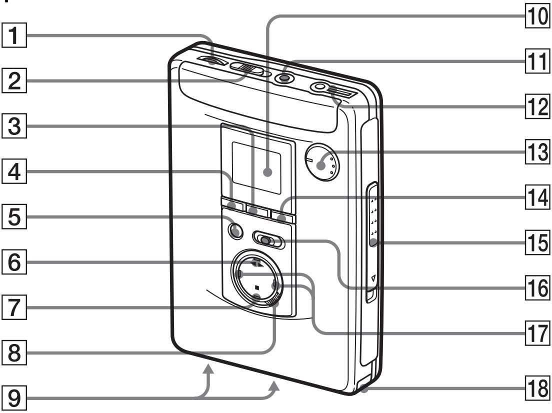
本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

* 電子情報技術産業協会（JEITA）規格による測定値です。

** ヘッドホンは、本体の🎧ジャックに直接つなぐときも、リモコンにつなぐときも、ステレオミニプラグのものをお求めください。

各部のなまえ

●本体



1 VOL（音量調節）つまみ

2 ISS（AM放送録音妨害除去）スイッチ

3 SET（機能設定）ボタン

4 MENU（機能選択）ボタン

5 RADIO ON（ラジオ電源入）/ BAND（AM、FM、TV選択）ボタン

6 ◀▶（再生）•REPEATボタン

7 テープ時: ■（停止）ボタン
ラジオ時: RADIO OFF（ラジオ電源切）ボタン

8 HOLD（誤操作防止）スイッチ

9 乾電池ケース用接点

10 液晶表示窓

11 MICジャック

12 🎧（ヘッドホン、リモコン）ジャック

13 SPEED CONTROLつまみ

14 テープ時:
COUNTER RESETボタン
ラジオ時:
ENTER（入力）ボタン

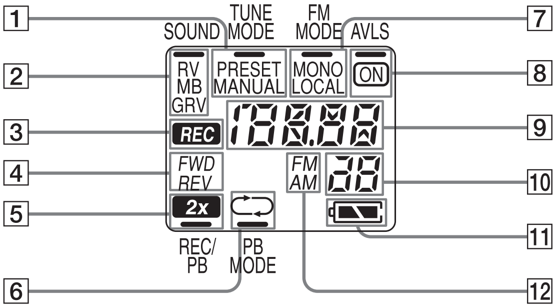
15 OPEN（カセットぶた開け）つまみ

16 REC（録音）スイッチ

17 テープ時:FF（早送り）•CUE•AMS/REW（巻き戻し）•REVIEW•AMSボタン
ラジオ時: TUNE（選局）/ PRESET＋、−（放送局番号選択）ボタン

18 充電式電池入れ

本体表示窓



1 選局方法表示
　プリセット　マニュアル
（PRESET/MANUAL）

2 音質表示（RV/MB/GRV）

　レコーディング
3 REC（録音）表示

4 テープ走行面表示（FWD/REV）

5 録音/再生時間表示

6 テープ走行方法表示
（⇆ / ↩）

7 FM受信方法表示
　モノ　ローカル
（MONO/LOCAL）

8 AVLS表示

9 動作状態/バンド表示（TV）

10 プリセット番号/エリア番号表示

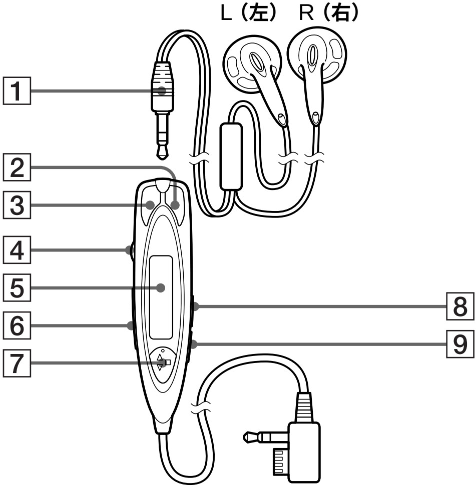
11 電池交換お知らせ表示

12 バンド表示（FM/AM）

その他

（次ページへつづく）

●リモコンつきヘッドホン



1 ステレオミニプラグ

2 REW－（巻き戻し•REVIEW•AMS）ボタン

3 FF＋（早送り•CUE•AMS）ボタン

4 VOL（ボリューム）（音量調節）つまみ

5 液晶表示窓*

6 HOLD（ホールド）（誤操作防止）スイッチ

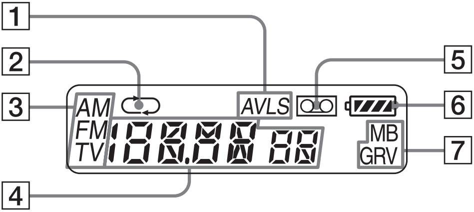
7 テープ時：
◀▶（再生）•■（停止）ボタン
ラジオ時：
RADIO ON（ラジオ オン）（ラジオ電源入）/
BAND（バンド）（AM、FM、TV選択）•
OFF（オフ）（ラジオ電源切）ボタン

8 SOUND（サウンド）ボタン

9 MODE（モード）ボタン

* 液晶バックライトについて
リモコン操作時、本体操作時、電池残量表示が変化したときなどに、自動的に約5秒間点灯します。

リモコン表示窓



1 AVLS表示

2 テープ走行方法表示（ / ）

3 バンド表示（FM/AM/TV）

4 テープ操作時：テープ動作状態表示
ラジオ操作時：周波数表示

5 カセット有／無表示

6 電池交換お知らせ表示

7 音質表示（RV/MB/GRV）

Note

Tapes recorded with setting to "2x" cannot be played properly on a cassette player/ tape recorder without this function.

- To prevent fire, do not cover the ventilation of the apparatus with newspapers, table-cloths, curtains, etc. And don't place lighted candles on the apparatus.
- To prevent fire or shock hazard, do not place objects filled with liquids, such as vases, on the apparatus.
- Certain countries may regulate disposal of the battery used to power this product. Please consult with your local authority.

Preparations

Prepare a dry battery (not supplied) or the rechargeable battery (supplied).

Dry Battery

Attach the supplied battery case, and then insert one R6 (size AA) battery with correct polarity.

Note

For maximum performance we recommend that you use a Sony alkaline battery.

Rechargeable Battery

Charge the rechargeable battery before using it for the first time.

1. Insert the supplied rechargeable battery NH-14WM (A) into the rechargeable battery compartment with correct polarity.
2. Connect the supplied AC power adaptor to the charging stand, plug in the AC power adaptor to the house current (mains).
3. Place the main unit on the charging stand. The CHG lamp will light up. Full charging takes about 6 hours regardless of the battery power remaining.

Notes

- This charging stand charges the rechargeable battery based on a timer. If you remove the unit from the charging stand while it is charging, the timer will be reset and full charging will take about 6 hours when you place the unit on the charging stand again.
- You can use the unit before the CHG lamp goes off, but in that case, battery life will be shorter depending on the charging time.

- Do not use the unit while it is charging. Remove the unit from the charging stand when using it.
  – If you operate the unit while it is charging, the battery will not be charged.
  – If you operate the unit while it is charging, this may cause a malfunction.
- Do not place the unit on the charging stand without the rechargeable battery. Otherwise, this may cause a malfunction.

When to replace/charge the battery

Replace or charge the battery when "▭" flashes in the display.

Battery life* (Approx. hours)

Sony alkaline LR6 (SG)**	
Tape playback	44
Radio reception	56
MIC recording	15
Radio recording	12

Rechargeable battery NH-14WM (A)	
Tape playback	26
Radio reception	34
MIC recording	9
Radio recording	7

Sony alkaline LR6 (SG)** and Rechargeable NH-14WM (A)	
Tape playback	70
Radio reception	90
MIC recording	24
Radio recording	19

* Measured value by the standard of JEITA (Japan Electronics and Information Technology Industries Association). (Using a Sony HF series cassette tape)

**When using a Sony LR6 (SG) “STAMINA” alkaline dry battery (produced in Japan).

Notes

- The battery life may be shorter depending on the operating condition, the surrounding temperature and battery type.
- The AVLS setting (see “Using the Menu”) will be cancelled when you replace the battery.

House Current

You must purchase an AC power adaptor AC-E15L to operate this unit using house current.
Remove the rechargeable battery if inserted. Attach the battery case and connect the AC power adaptor AC-E15L (not supplied) to the DC IN 1.5V jack of the battery case and to the wall outlet.
Do not use any other AC power adaptor.



Polarity of the plug

Recording

You can record radio programs from the built-in radio, or record with the supplied microphone.
In either case, use a new or fully charged battery.

Note

If the record-protect tab is broken, you cannot record on that side.

1 Insert a normal (TYPE I) tape.

To record on both sides

Insert the cassette with the side to be first recorded on as the FWD (forward) side*.

* Make sure that “FWD” is displayed. If not, press and hold ■(stop) until “REV” changes to “FWD”.

To record on one side only

Insert the cassette with the side to be recorded on as the REV (reverse) side**.

**Make sure that “REV” is displayed. If not, press and hold ■ until “FWD” changes to “REV”.

Note

When the cassette holder is opened, the direction of the tape will be automatically set to “FWD”.

2 Press MENU repeatedly to set the cursor in the display to REC / PB. Then press SET to select "2x" or none (normal speed).

Normal (no indication) (4.8cm / s): for optimum sound. Recommended for normal recordings.

2× (2.4cm / s): for double recording time (for example, 120 minutes using both sides of a 60-minute cassette). Suitable for recording conferences, dictations, etc. Not recommended for recording music.

3 Select a recording source:

To record with the microphone

Connect the supplied microphone to the MIC (PLUG IN POWER) jack.

To record from the radio

Tune in to the station you want to record (see "Listening to the Radio").

4 Slide REC.

"REC" appears in the display and recording starts after about 2 seconds.

If you have started recording from the FWD side, recording will switch to reverse side automatically at the end of the FWD side.

To stop recording

Press ■ (on the remote control, press ◄►(play)•■(stop) to stop recording).

To reduce noise while recording AM programs

Set the ISS (Interference Suppress Switch) to the position that reduces noise the most.

To monitor the recording sound

You can monitor the recording sound through headphones / earphones. Adjust monitoring level using VOL.

Note

You may hear some noise in the monitor sound in the RV, MB, or GRV mode (see "Using the Menu"), but this does not affect recording.

Notes on recording

- The recording level is fixed.
- Sound emphasis (RV, MB, or GRV) and AVLS settings do not affect recording.

- Actual recording will start about 2 seconds (3 seconds when "2x" is selected for recording time) after you slide REC. Slide REC about 2 seconds (3 seconds when "2x" is selected for recording time) before the moment you want to start recording, or you will miss the beginning of your recording.
- When recording on both sides, recording will not be made for about 10 seconds while the tape is switching sides.
- Do not use a high-position (TYPE II) or metal (TYPE IV) tape. If you do, the sound may be distorted when you play back the tape, or the previous recording may not be erased completely.
- Do not connect or disconnect the headphones / earphones to / from 🎧 while recording from the radio. The recording condition may change abruptly, or noise may be recorded.
- To avoid noise interference, do not place it near a lamp cord or a fluorescent lamp when recording with the microphone.
- If a howling effect occurs, turn down the volume.
- All other operation cannot be made while recording. For other operation, stop recording first.

To prevent a tape from being accidentally recorded over

Break off the tabs from side A and / or B. To reuse the tape for recording, cover the tab hole with adhesive tape.

Playing a Tape

1 Insert a cassette and if the HOLD function is on, slide the HOLD switch in the opposite direction of the arrow to unlock the controls.

2 Press MENU repeatedly to set "__" (the cursor) in the display to REC / PB. Then press SET to select "2x" or none (normal speed) which is the same position as that used for recording.

To playback commercially available music tape, etc., select normal (no indication).

3 Press ◀▶(play) • REPEAT on the main unit and adjust the volume with VOL. (On the remote control, press ◀▶ • ■.)

When adjusting the volume on the remote control

Set the VOL control on the main unit to around 6.

When adjusting the volume on the main unit

Set the VOL control on the remote control at maximum.

Operation on the remote control

To	Press
Switch playback to the other side	◀▶•■ for 2 seconds or more during playback
Stop playback	◀▶•■ once during playback

Operation on the main unit

To	Press
Switch playback to the other side	◀▶•REPEAT during playback
Stop playback	■ (stop)

Other tape operations

To	Press
Fast forward*	FF / CUE (FF + on the remote control) during stop
Rewind*	REW / REVIEW (REW – on the remote contorl) during stop
Search forward during playback (CUE)	Press and hold FF / CUE (FF + on the remote control) and release it at the point you want.
Search backward during playback (REVIEW)	Press and hold REW / REVIEW (REW – on the remote control) and release it at the point you want.
Play the next track / succeeding 9 tracks from the beginning (AMS**)	FF / CUE (FF + on the remote control) once / repeatedly during playback
Play the current track / previous 8 tracks from the beginning (AMS**)	REW / REVIEW (REW – on the remote control) once / repeatedly during playback
Play the other side from the beginning (Skip Reverse function)	FF / CUE (FF + on the remote control) for 2 seconds or more during stop
Play the same side from the beginning (Rewind Auto Play function)	REW / REVIEW (REW – on the remote contorl) for 2 seconds or more during stop

* Press ◀▶•■ on the remote control during fast forward or rewind to start playback.

**Automatic Music Sensor

A-B Repeat

A-B Repeat plays back repeatedly any portion of the tape you specified. Specify by tagging the beginning (point A) and the end (point B) of the portion during playback.

On the main unit

1. Press ◀▶•REPEAT for 2 seconds or more during playback to tag point A.
   "A-" will flash in the display of the main unit.
2. Press ◀▶•REPEAT again to tag point B.
   "A-B" will flash and the tape will move rapidly to point A. Then "REP" appears in the display and the specified portion is played repeatedly.

On the remote control

1. Press ◀▶•■ twice quickly during playback to tag point A.
2. Press ◀▶•■ once more to tag point B.
   The tape will be rewound to point A. Then the specified portion is played repeatedly.

To stop the A-B Repeat playback

Press ◀▶•REPEAT on the main unit.
On the remote control, press ◀▶•■.

To reset A-B Repeat

When you want to change a specific portion, stop the A-B Repeat playback and tag point A and point B again.

Notes

- You cannot specify a repeat portion that includes both sides of the tape.
- You cannot specify a repeat portion shorter than 2 seconds.
- After repeated operation, the actual portion that is played back may shift somewhat from the exact portion specified with the tags due to tape slack.
- A-B Repeat stops automatically after repeating 50 times.
- Do not use the A-B Repeat function with tapes longer than 90 minutes. If you do, the tape may be damaged.

Listening to the Radio

1. Press RADIO ON/BAND to turn on the radio.
2. Press RADIO ON/BAND repeatedly to select AM, FM or TV.
3. Press MENU on the main unit repeatedly and set the cursor in the display to TUNE MODE.

4 **For manual tuning**

① Press SET to choose MANUAL.

② Press TUNE / PRESET + or – repeatedly to tune in to the desired station.
Hold down TUNE / PRESET + or – for a few seconds to scan for stations.

For preset tuning

① Press SET to choose PRESET.

② Press TUNE / PRESET + or – repeatedly to recall the desired preset station.
To use preset tuning, preset stations first (see "Presetting Radio Stations").

To turn off the radio

Press RADIO OFF.

To improve the broadcast reception

- **For AM:** Reorient the unit itself.
- **For FM or TV:** Extend the remote control cord (antenna). If the reception is still not good, press MENU repeatedly to set the cursor in the display to FM MODE. Then press SET to choose from "MONO" (monaural), "LOCAL" or none (stereo) for best reception.

To operate from the remote control

To turn on the radio, press RADIO ON / BAND • OFF for more than 1 second (while the tape is in stop mode only).
To select the band, press RADIO ON / BAND • OFF for more than 1 second while the radio is on.
To tune in or recall a preset station, press FF + or REW –.
To turn off the radio, press RADIO ON / BAND • OFF.

Tuning in to the Ready-preset Stations for Each Area (Super Area Call)

For each of the 15 areas in Japan , this Walkman is factory preset with frequency data for major stations receivable in the area. Once your present area is selected, you can tune in to the stations on the area by preset tuning. For the factory preset stations for each area, see pages 34 to 37 of the Japanese text.

Area 1: Hokkaido
Area 2: Aomori, Akita, Iwate
Area 3: Miyagi, Yamagata, Fukushima
Area 4: Chiba, Saitama, Tokyo, Kanagawa

Area 5: Ibaraki, Gunma, Tochigi
Area 6: Yamanashi, Shizuoka, Nagano
Area 7: Aichi, Gifu, Mie
Area 8: Niigata, Toyama, Ishikawa, Fukui
Area 9: Osaka, Kyoto, Hyogo
Area 10: Shiga, Nara, Wakayama
Area 11: Tottori, Shimane, Okayama, Hiroshima, Yamaguchi
Area 12: Tokushima, Kagawa, Ehime, Kohchi
Area 13: Fukuoka, Saga, Nagasaki, Oita
Area 14: Kumamoto, Miyazaki, Kagoshima, Okinawa
Area 15: Shinkansen

Selecting the Area

You can choose the area number manually.

1 Press RADIO ON / BAND to turn on the radio.

2 Press ENTER. The frequency digits will flash in the display.

3 Hold down RADIO ON / BAND until “AREA 1” flashes*.

4 While “AREA 1” is flashing*, press TUNE / PRESET+ or – repeatedly to select area number from 1 to 15 and then press ENTER.

5 Tune in to the desired preset station by “preset tuning” (see “Listening to the Radio”).

* Once you select the area number, that number will be displayed.

Presetting Radio Stations

You can preset up to 24 stations—8 for each FM, AM and TV.

Presetting Automatically Scanned Stations

1 Press RADIO ON / BAND to turn on the radio.
2 Press RADIO ON / BAND repeatedly to select AM, FM or TV.
3 Press and hold ENTER for more than 3 seconds.
Preset number 1 will flash in the display and the main unit starts scanning the stations from the lower frequencies and stops for about 5 seconds when a station is received.
4 If you wish to preset the currently received station, press ENTER while the preset number is flashing.

The received station is preset on preset number 1 and the unit starts scanning for the next receivable station.

5 Repeat step 4 until all receivable stations are preset.

To stop scanning

Press RADIO OFF. The radio is turned off at the same time.

Notes

- If stations are already stored, the newly preset stations replace the old ones when the above procedure is completed.
- If stations cannot be preset automatically, preset them manually.

Presetting Stations Manually

1 Press RADIO ON/BAND to turn on the radio.

2 Press RADIO ON/BAND repeatedly to select AM, FM or TV.

3 Press ENTER.
The frequency digits will flash in the display.

4 While the frequency digits are flashing, tune in to a station you wish to store using TUNE/PRESET + or – and press ENTER.
The preset number will flash in the display.

5 While the preset number is flashing, select the preset number you want using TUNE/PRESET + or –.

6 While the preset number is flashing, press ENTER.

Notes

- If you cannot complete step 4, 5 or 6 while the indicators are flashing, repeat from step 3.
- If a station is already stored, the new station replaces the old one.

To cancel a stored station

1 Follow the procedure of "Playing the Preset Radio Stations" and in step 5, select the preset number you want to cancel and then press ENTER. The frequency digits will flash in the display.

2 Press and hold TUNE/PRESET + or –. The frequency digit starts running up or down. Keep holding down the button until "- - - -" is displayed.

3 Press ENTER while "- - - -" is flashing. A preset number will flash in the display.

4 Press ENTER to cancel the stored station.

Playing the Preset Radio Stations

1 Press RADIO ON/BAND to turn on the radio.

2 Press RADIO ON / BAND repeatedly to select AM, FM or TV.
3 Press MENU repeatedly to set the cursor in the display to TUNE MODE.
4 Then press SET to display "PRESET".
5 Press TUNE / PRESET + or –.

Scanning the Preset Radio Stations

1 Press RADIO ON / BAND to turn on the radio.
2 Press RADIO ON / BAND repeatedly to select AM, FM or TV.
3 Press and hold RADIO ON / BAND for 2 seconds or more. The preset stations of the selected band will be played for about 5 seconds each. (While scanning the preset radio stations, the indicators in the display flash.)
4 Press RADIO ON / BAND again to select the station while the desired preset station is being played.

Notes

- If there are no stations stored, this function does not work.
- Until a station is selected in step 4, this function turned on in step 3 will continue.

Receiving Stations Outside Japan

1 Press RADIO ON / BAND to turn on the radio.
2 Press ENTER.
The frequency digits will flash in the display.
3 Press and hold RADIO ON / BAND until "AREA 1" flashes*.
* If the area number has been selected, that number will be displayed.
4 Press TUNE / PRESET + or – repeatedly to select "USA" or "Eur".
5 Press ENTER.
6 Tune in to and store stations as necessary following the procedure of "Listening to the Radio" and "Presetting Radio Stations".

Area indication and frequency range

Area*	Frequency range FM (MHz)	AM (kHz)
USA	87.5 - 108	530 - 1 710
Eur	87.5 - 108	531 - 1 602

* USA : USA, Canada, and Central and South America
Eur : European and other countries / regions

To receive stations in Japan

Select “AREA 1 to 15” in step 4 above.

Using the Menu

To select playback direction mode

On the main unit:

Press MENU repeatedly to set the cursor in the display to PB MODE. Then press SET to select the desired mode.

On the remote control:

Press MODE repeatedly. With each press, the indications change.

To play	Select
both sides repeatedly	
both sides once from the FWD side	

Emphasizing Sound

On the main unit:

1 Press MENU repeatedly to set the cursor in the display to SOUND.

2 Press SET repeatedly to select the sound emphasis of your choice.

On the remote control:

1 Press SOUND repeatedly. With each press, the indications change.

The indications change as follows:

RV : Sound Revitalizer
Emphasizes treble sound.

MB : Mega Bass
Emphasizes bass sound (moderate effect).

GRV : Groove
Emphasizes bass sound (strong effect).

no message : normal
(no effect)

Note

If the sound is distorted with the mode “GRV”, turn down the volume of the main unit or select other modes.

Protecting Your Hearing — AVLS (Automatic Volume Limiter System)

The maximum volume is kept down to protect your ears.

On the main unit:

Press MENU repeatedly in the playback, stop or radio mode to set the cursor in the display to AVLS. Then press SET to show “ON”.

On the remote control:

Hold down MODE for more than 10 seconds until "AVLS" appears in the display.

To cancel the AVLS function

Press SET so that "ON" disappears from the display on the main unit.
On the remote control, hold down MODE again for more than 3 seconds until "AVLS" disappears.

Using Other Functions

Adjust the Tape Playback Speed

You can adjust the playback speed using SPEED CONTROL.
Turn SPEED CONTROL to:
– (slow) to play back at a slower speed.
Center position to play back at normal speed.
+ (fast) to play back at a faster speed.

Note

The SPEED CONTROL works in the playback mode only. Recording will be made independent of this control.

Locking the Controls — HOLD Function

Slide the HOLD switch in the direction of the arrow to lock the controls of the main unit (except SPEED CONTROL) or the remote control.

Using the Tape Counter

The tape counter is displayed on the main unit during playback, recording, fast forward, rewind, CUE, REVIEW and stop (except when the radio is turned on).
The number will increase when playing back the FWD side, and decrease when playing back the REV side. To reset the counter to "000", press ENTER/COUNTER RESET.

Notes

- The tape counter may show some deviation.
- The tape counter will not be displayed when the cassette compartment is empty.

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル ………… 0570-00-3311

（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）

● 携帯電話・PHSでのご利用は…03-5448-3311

（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）

● FAX ……………………… 0466-31-2595

受付時間 ：月～金 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1

Printed in China